



第7回ふれあい人権講座

「対話型美術鑑賞」から
 性差（ジェンダー）への
 意識を考える

この講座では、美術館を会場に、いくつかの所蔵作品を感想を出し合いながら鑑賞しました。参加者に内緒にしていたテーマは「男女共同参画」です。この鑑賞方法に誘導的な目的を持つことはルール違反かもしれませんが、美術作品を観て感じるものの中に、性差や性別の役割分担などについての先



第8回ふれあい人権講座

「国際女性デーを楽しもう」
 に参加しました

入観がありはしないか、もつと自由な視点があるのではないかと、といった気づきを促す狙いです。進行役の浅田主任学芸員のアドバイスを受けながら、それぞれの作品への鑑賞の幅を広げていきました。

3月8日は「国際女性デー」です。これを記念して鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」（倉吉市）で開かれた講演会に参加しました。講演のテーマは「世界で女性の笑顔に出会う」。鳥取地球人クラブ代表の中尾和則さんが、30数年にわたり発展途上国を中心に世界80ヶ国を旅された中で経験されたことや、出会った人々についてのお話を、写真スライドを観ながら聴きました。生活習慣や文化、宗教は様々で、女性の置かれている立場は現在の欧米の人権意識から見れば差別的でもあるようです。でも、その中で懸命に生き、たくさんの笑顔がある。男女の関係性や性差のとらえ方が世界で多様であることにも気づいていなければ、と思いました。



民族衣装に身を包んだ参加者の皆さん

また、隣国パキスタンに逃れたアフガニスタン難民のキャンプで講師が出会った光景のお話はとても印象深いものでした。ポツンとカゴが吊られ、そこに少し余裕のある人がお金を入れていく。そして、困っている人が最小限のお金をそこから借りていく…。今の日本でこの仕組みが成り立つのでしょうか？正直、疑問です。私たち日本人が傲慢な井の中の蛙であることを改めて知らされました。

また、講師の集められた各地の女性の民族衣装も用意されていて、参加者は色とりどりの美しい衣装を身に付けて現地の暮らしに思いを馳せていました。

【お知らせ】

第1回ふれあい人権講座

部落差別解消をめざして

「解放への願いが変えた
 社会を、さらに前へ(仮題)」

■日時 4月11日(火)

午後6時から

■会場 人権センター

部落差別解消を願う活動が、社会の仕組みを改善してきた歴史があります。まだ残る差別から前に進むために、私たちが変わるべきは何かを考えます。

4月の人権・行政相談所

■日時 4月14日(金)

午前9時～正午

■会場 子育て支援センター

人権や行政の仕事に関する相談を人権擁護委員、行政相談委員がお受けします。予約は不要です。お気軽にお越しください。

